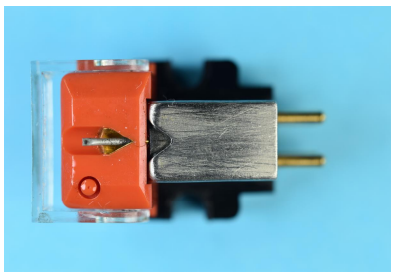
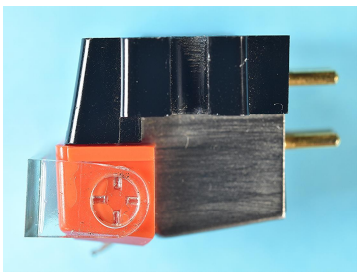
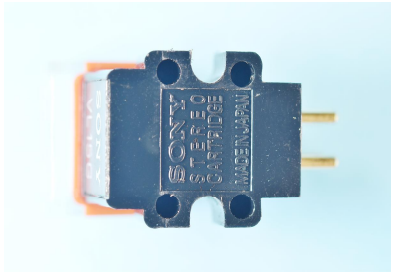
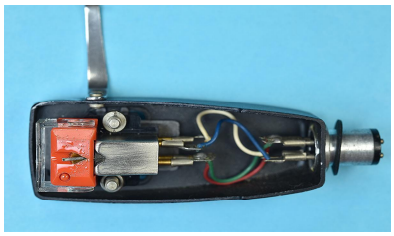
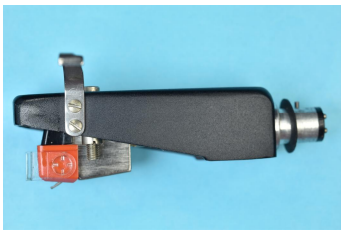
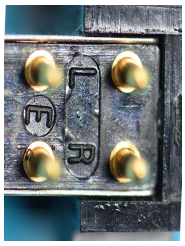
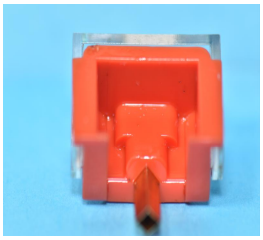
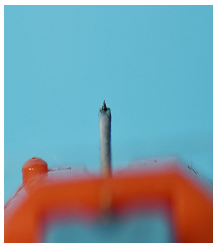
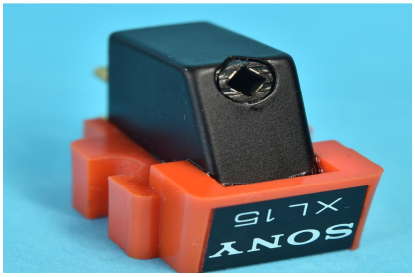
NO:56.1　形式: VL- 15G　　ソニー（SONY ） ソニーサウンドテック（株）

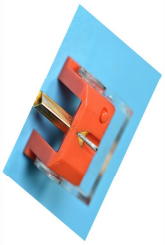








① MM、② 10 - 30,000Hz ③ 4mV、④ 0.6mil、⑤ 5.2g ⑥ 1.2 - 1.7 g ⑦、⑧ 50 - 100k Ω ⑨ 、⑩、⑪ 25dB ⑫、⑬、⑭、⑮、⑯ 1977 頃⑰、⑱、⑲、⑳'78SG

推測ですが、ソニーの PS-3700 プレーヤーに装着され、スタイラスは ND-15G です。このｶｰﾄﾘｯｼﾞ VL-15G は 1974 頃発売された XL-15 の廉価版で、1977 年に 1 年間のみの販売を SG に掲載しています。針圧は XL-15 より少し軽めですが出力電圧は同じです。

ｽﾀｲﾗｽの無い状態で入手しました。ｽﾀｲﾗｽは純正品ではありませんが、他の XL-15 のｽﾀｲﾗｽを使用し、写真撮影、試聴をしています。また、黒色のシェルは SG の写真を参考に選定しました。

1.7g で試聴したところ、柔らかいほんのりとした美しい音が出ています。低音の音量はありますが、少しツマリがあります。

NO:56.2　形式: VL-32G（Orange） ソニー（SONY）　ソニーサウンドテック（株）



① MM、② 10 - 30,000Hz ③ 3mV、④ 0.5mil、⑤ 5.6（実測） ⑥ 1.5 - 2.5 g ⑦、⑧、⑨ 、⑩、⑪ 25dB、⑫、⑬ 10、⑭、⑮、⑯ 1974 頃⑰、⑱、⑲、⑳'75SG

ソニーの PS-2350 プレーヤーに装着され、スタイラスは ND-134G（Orange）です。

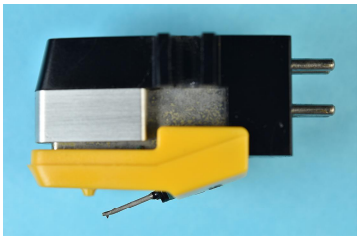
ND-134G にはスタイラス ND-134G（Yellow）もあり、ボデイの外観色も相違しています。しかし、型番表示は同一です。このスタイラスの裏面に「A」と「1」の表示があり、製造会社、針先などを表示していると推測します。「A」は Audio-technica を表すのか？。「１」が表すものは何か分かりません。

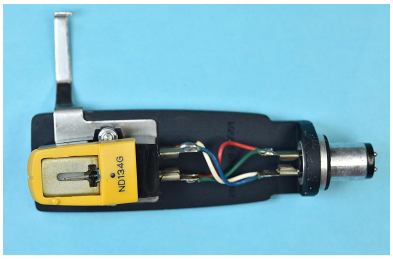
1973 年以前のカートリッジの外観形状です。カンチレバーの磁石とボデイの磁極配置が、オーディオテクニカの AT-VM ３に良く似ており、オーディオテクニカからの OEM 関連製品と思われます。オーディオテクニカから発電機構特許のみ取得し、ソニーにて製作したのかも知れません。ボデイにはソニーの銘板、製造番号の彫刻印があります。

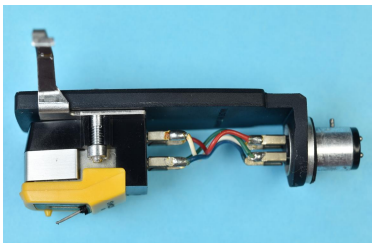
2.0g で試聴したところ、透明、明瞭感のある大変良い音です。低音の響きも良い。

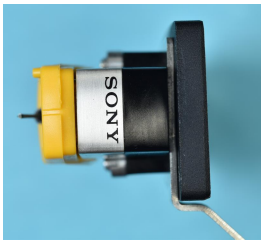
NO:56.3　形式：VL-32G（Yelllow）ソニー（SONY　）ソニーサウンドテック（株）

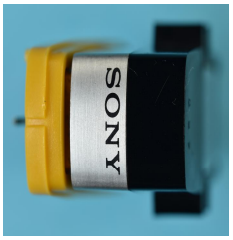


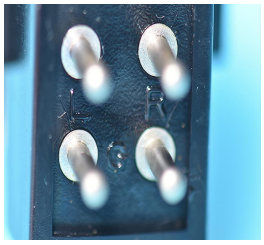


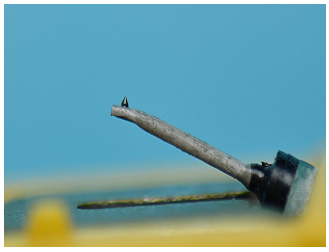
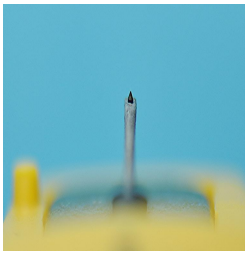
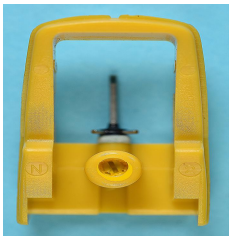
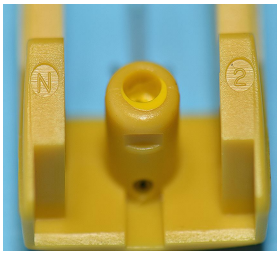








① MM、② 20 - 20,000Hz ③ 2.5mV、④ 0.5mil、⑤ 5.5 ⑥ 1.5 - 2.5 g ⑦、⑧ 50k、⑨　、⑩、⑪ 18dB、⑫、⑬ 10、⑭、⑮、⑯ 1974 頃⑰、⑱、⑲、⑳'75SG

ソニーの PS-4350、4750 プレーヤーに装着され、スタイラスは ND-134G（Yellow）です。

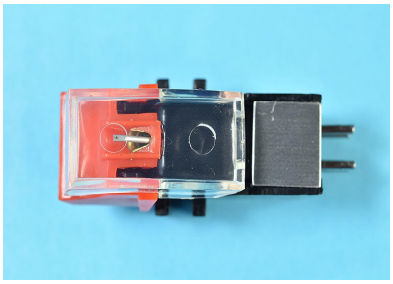
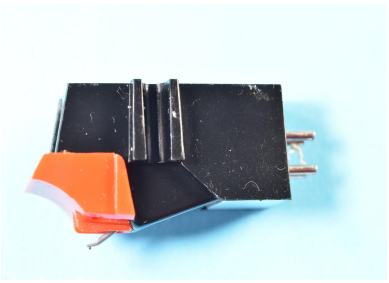
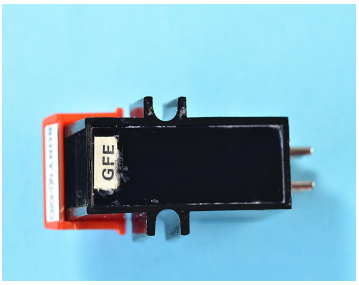
ND-134G にはもう一つ、ND-134G（Orange）があります。前ページに記載しています。

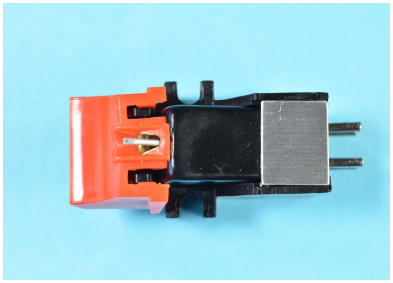
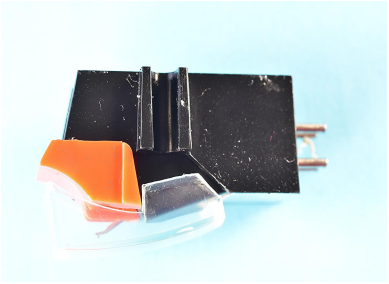
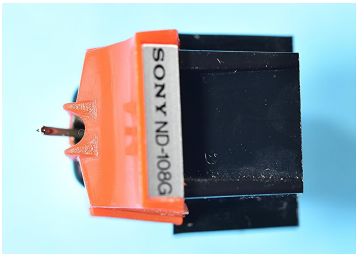
このスタイラスの裏面に「N」と「2」の表示があり、「N」はナガオカ製品を表していると思います。「２」は分かりません。ボデイにはソニーの銘板、製造番号の調印があります。

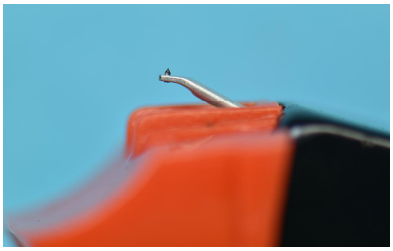
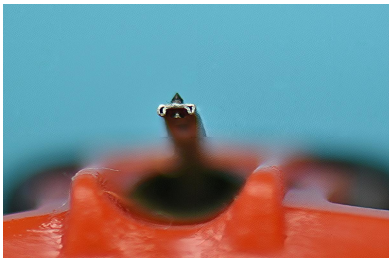
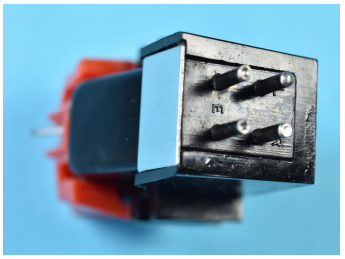
この製品のシェルは少し他のシェルと外観デザインが異なっています。オリジナル品を入手していることから PS-4350、4750 プレーヤー装着品と判断しました。性能もそのプレーヤ記載の仕様を記載しました。出力電圧など 1 部が Orange スタイラスと異なっています。

2.0g で試聴したところ、柔らかいホンノリした優しい音です。低音は少し多めに感じます。また、ツマリも少しあります。前ページの Orange スタイラスと比較すると好みの問題で、楽曲に応じて使い分けると良いと感じました。

NO:56.4　形式: VM ー 8G　 ソニー（SONY ） ソニーサウンドテック（株）

（データー不明のため、Victor の 1016 ボデイ、DT-33S のデータ他を参考までに）

① MM、② 10 - 25,000Hz ③ 2.5mV、④ 0.5mil、⑤ 6.3（実測）⑥ 1.5 - 2.0 g（1.7 標準）、⑦、⑧ 47 - 100、⑨ 、⑩、⑪ 25、⑫、⑬、⑭、⑮、⑯ 1972 以前⑰、⑱、⑲、⑳

'73SG、'75SG にて、ソニーのプレーヤーを調べたが、当該品は見当たりません

カートリッジ裏面に GFE という印刷シールがあり、グランツの OEM 製品であることが分かります。通常、ソニ製造品には裏面に SONY の銘板があり、製造番号が彫印されています。ボデイの形状は Victor の 1972 年頃の製品に大変良く似ています。

この製品の類似品に型番不明の Onkyo 製品（ｽﾀｲﾗｽ薄い緑色、Onkyo 製品記載頁参照）があり、ｽﾀｲﾗｽは共通使用出来ます。

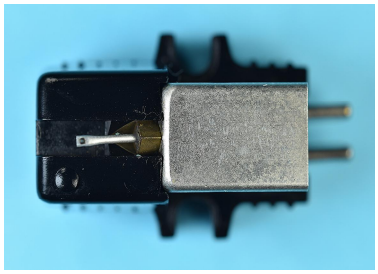
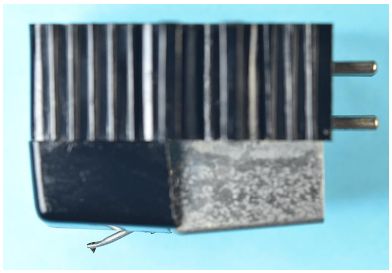
次ページ記載の VM-22G、VM-1200G よりボデイサイズは大きいが、0.5g 程軽量です。また、出力電圧が VM-22G の 5mv 小さい 2.5mv です。

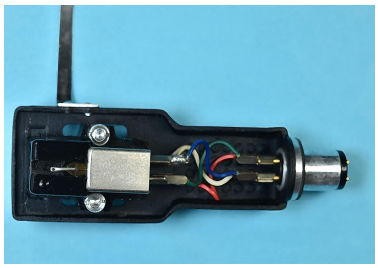
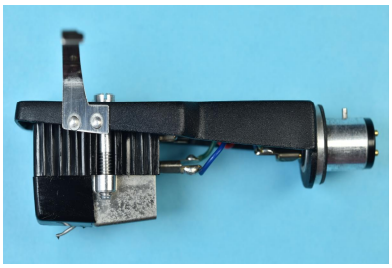
1.7g で試聴した。柔らかなやさしい音、低音は少なめ、ツマリあり。

（比較試聴）

2.0g で VM-22G 試聴、スッキリした透明感のあるクリアーな音。低音も出ている。

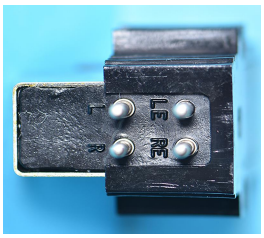
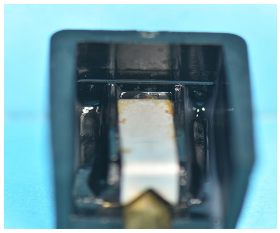
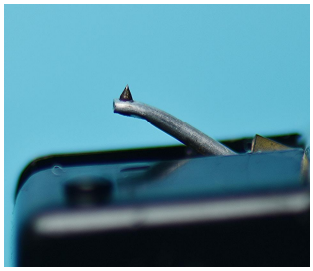
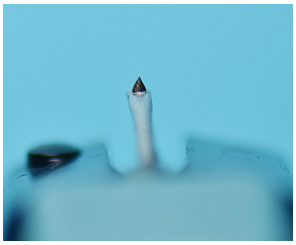
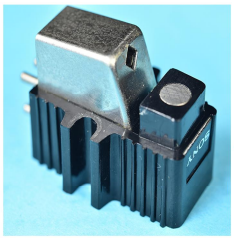
NO:56.5　形式: VM-22G　ソニー（SONY ）ソニーサウンドテック（株）





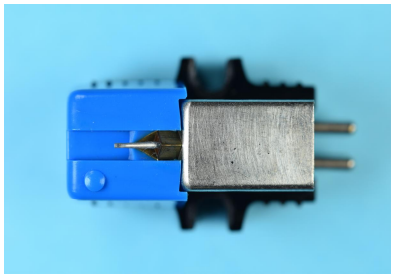
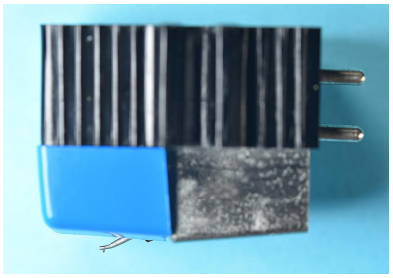







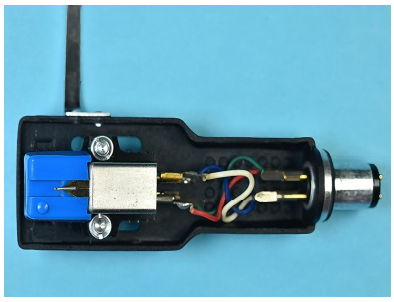
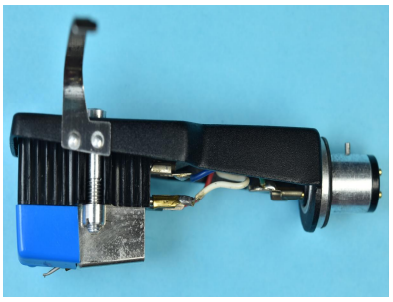
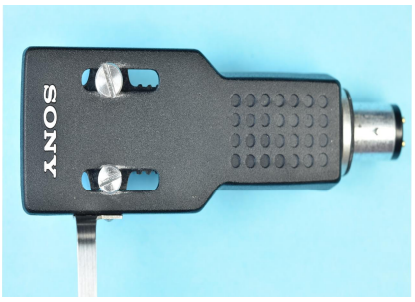

① IM、② 15 - 22,000Hz ③ 5mV、④ 0.5mil、⑤ 6.8g ⑥ 1.3 - 3.0 g（2.0 標準）⑦、⑧ 50k、⑨ 15 、⑩、⑪ 25dB、⑫ 2db、⑬ 10、⑭ 6k、⑮、⑯ 1973.3 ⑰、⑱、⑲、⑳'73SG

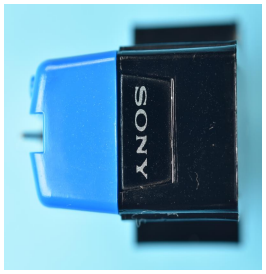
大変古いｶｰﾄﾘｯｼﾞです。ｽﾀｲﾗｽは ND-126G です。
ソニーのレコードプレーヤー装着ｶｰﾄﾘｯｼﾞ、PS-5100、2300A に装着されています。
発電形式は IM 型です。
このｶｰﾄﾘｯｼﾞにはﾎﾞﾃﾞｲが相似なｶｰﾄﾘｯｼﾞが多数あるようです。手持ちの VM-1200G の他、VM-21G などがあり、スタイラスは ND-131G、ND-132G 共通で使用可能です。

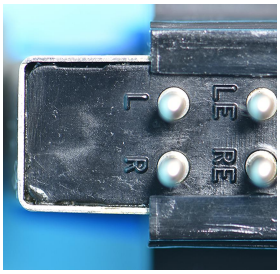
VM-22G：2.0g で試聴したところ、透明感、明瞭、爽やかです。低音も綺麗です。
比較のため、VM-1200G の音：2.0g で試聴したところ、柔らかみのある暖かい感じの音、低音には少しツマリあり。

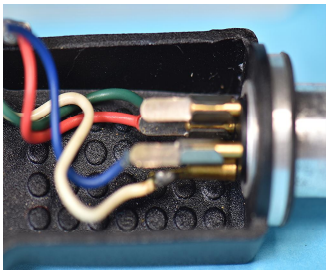
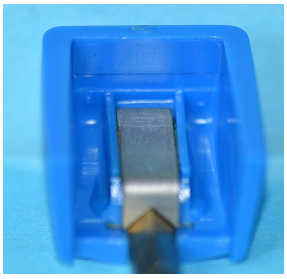
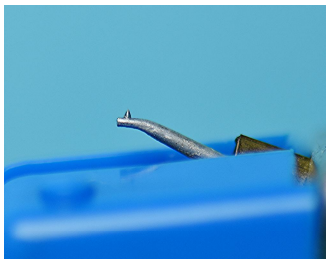
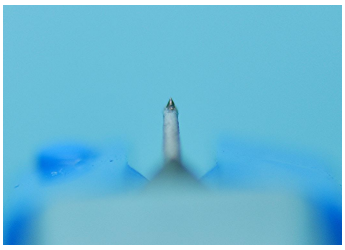
NO:56.6　形式: VM-1200G ソニー（SONY ） ソニーサウンドテック（株）

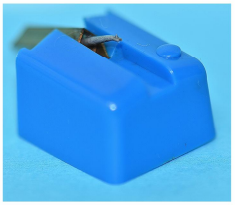







① IM、② ,③ 2.5mV、④ 0.5mil、⑤ 6.8（実測）⑥ 1.5 - 2.5 g（2.0 標準）、⑦ 740、⑧ 50k Ω 、⑨ 15 、⑩、⑪ 25dB、⑫ 2db、⑬ 5、⑭ 5.5k、⑮、⑯ 1973.3、⑰、⑱、⑲、⑳'73SG

大変古いｶｰﾄﾘｯｼﾞです。ｽﾀｲﾗｽは ND-131G です。

ソニーのレコードプレーヤー装着ｶｰﾄﾘｯｼﾞ、PS-2410 に装着されています。

発電形式は IM 型です。このｶｰﾄﾘｯｼﾞにはﾎﾞﾃﾞｨが相似なｶｰﾄﾘｯｼﾞが多数あるようです。

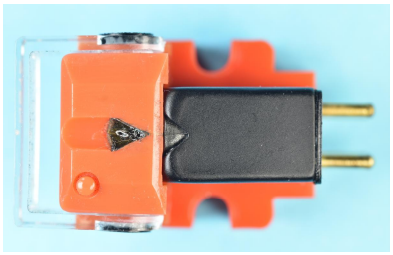
手持ちの VM-22G の他、VM-21G などがあり、スタイラスは ND-126G、ND-132G、ボデイを共通で使用可能です。

2.0g で試聴したところ、柔らかみのある暖かい感じの音、低音には少しツマリあり。

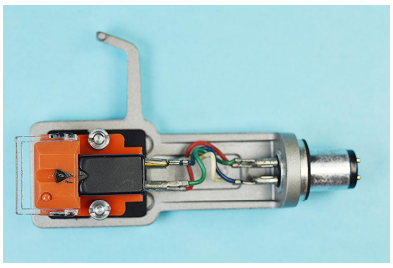
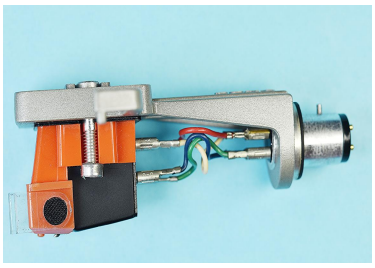
VM-22G の試聴結果は前ページに記載。

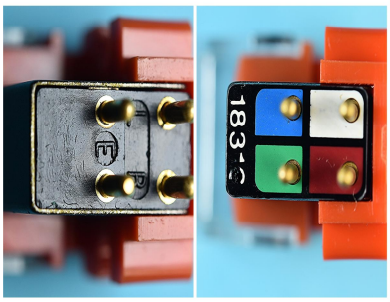
スタイラスの針先の違いは当方では分かりませんが、外に露出しているカンチレバーの長さは VM-22G：6mm、VM-1200G：5mm と相違があります。出力電圧が大きく異なっています。

NO:56.7　形式: XL-15（1）　ソニー（SONY）　ソニーサウンドテック（株）

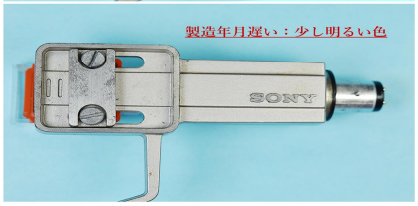


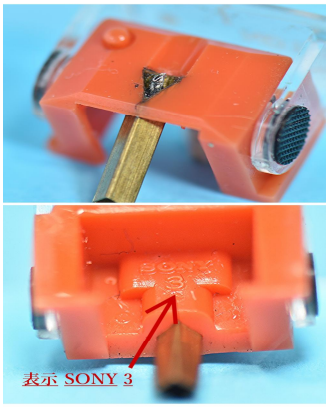



製造年月が早い　製造年月が遅い








製造年月：古い　製造年月：新しい

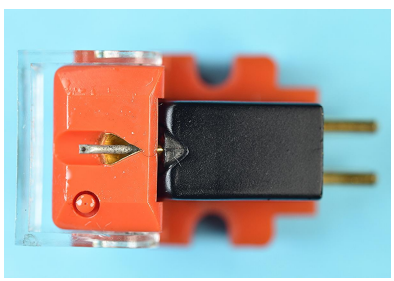


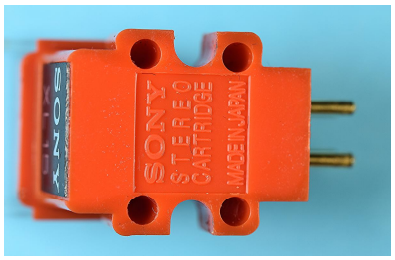
① MM、② 10 - 30,000Hz ③ 4mV、④ 0.6mil、⑤ 5.2g ⑥ 1.2 - 2.5 g（1.7 標準）⑦、⑧ 50k Ω、⑨ 、⑩、⑪ 25dB、⑫、⑬ 15、⑭、⑮、⑯ 1975 ⑰、⑱ 11,000、⑲、⑳ SG '75

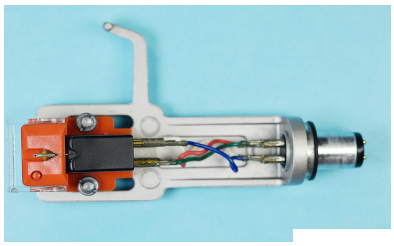
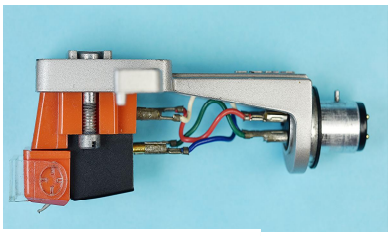
特記事項：この XL モデルには XL-10 から XL--333 まで約 30 種程あります。最初は 1975 年に登場している。XL-15 はカートリッジの生産を終了する 1990 年までソニーの MM 型の代表であり続け、100 万個販売されたそうです。写真のスタイラスは針折れ品です。チップの損傷ではなくカンチレバーの改修を試みた製品のようです。スタイラスは純正品、Sony マークなどあります。この写真のｶｰﾄﾘｯｼﾞは製造年月の早い方のｶｰﾄﾘｯｼﾞです。新旧の比較写真で端子盤、ｼｪﾙ、ｶﾝﾁﾚﾊﾞｰ挿入孔の相違を記載しました。特にｶﾝﾁﾚﾊﾞｰ挿入孔部が改善されています。同じ XL でも違います。

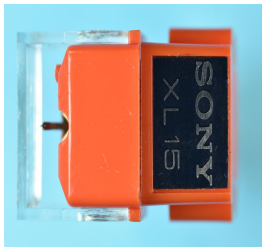
コメント：手持ちのｽﾀｲﾗｽに取り替えて、1.7g で試聴したところ柔らかく、暖かい、耳障りの良い音です。低音は出てるが少しツマリあり。

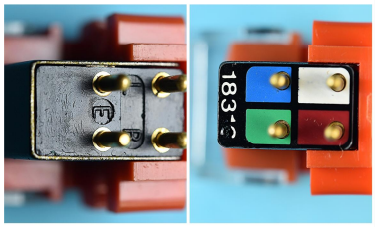
NO:56.8　形式: XL-15（2）　ソニー（SONY）　ソニーサウンドテック（株）

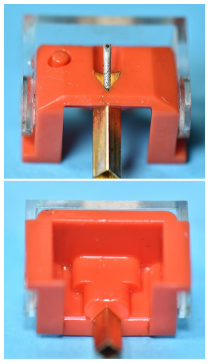


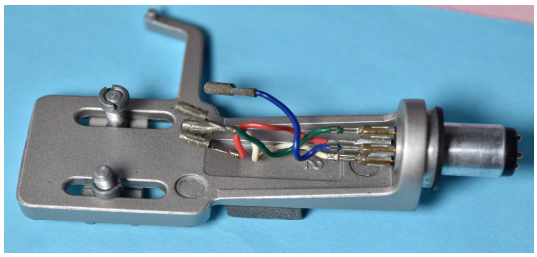


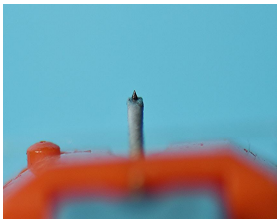



製造年月が早い　製造年月が遅い



製造年月：古い　製造年月：新しい





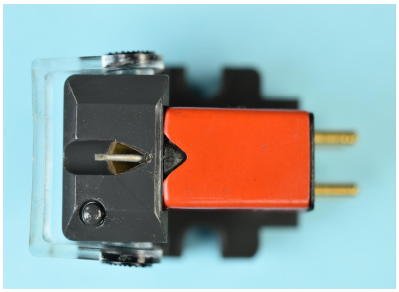
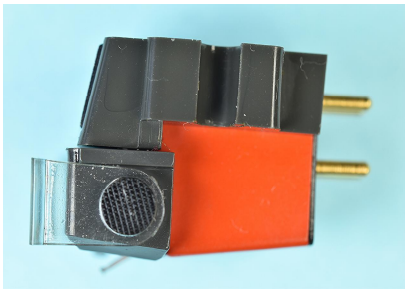
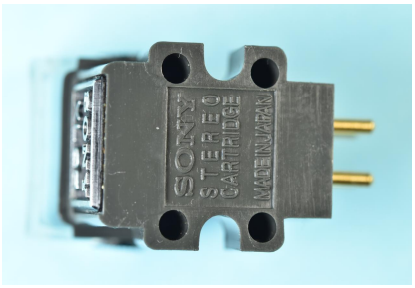


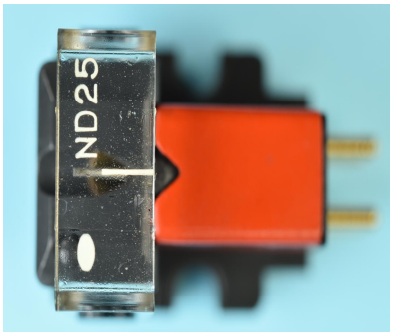

① MM、② 10 - 30,000Hz ③ 4mV、④ 0.6mil、⑤ 5.2g ⑥ 1.2 - 2.5 g（1.7 標準）⑦、⑧ 50k Ω、⑨　、⑩、⑪ 25dB、⑫、⑬ 15、⑭、⑮、⑯ 1975 ⑰、⑱ 11,000、⑲、⑳ SG '75

特記事項：この XL モデルには XL-10 から XL--333 まで約 30 種程あります。最初は 1975 年に登場している。XL-15 はソニーがカートリッジの生産を終了する 1990 年までソニーの MM 型の代表であり続け、100 万個販売されたそうです。この写真のｶｰﾄﾘｯｼﾞは製造年月の遅い方のｶｰﾄﾘｯｼﾞです。新旧の比較写真で端子盤、ｼｪﾙ、ｶﾝﾁﾚﾊﾞｰ挿入孔の相違を記載しました。特にｶﾝﾁﾚﾊﾞｰ挿入孔部が改善されています。同じ XL でも違います。

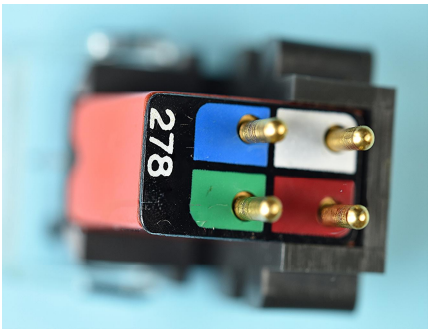
コメント：1.7g で試聴したところ、透明感があり、明瞭で伸び伸びした音です。低音も良くでており、前ページのｶｰﾄﾘｯｼﾞより良くなっている。

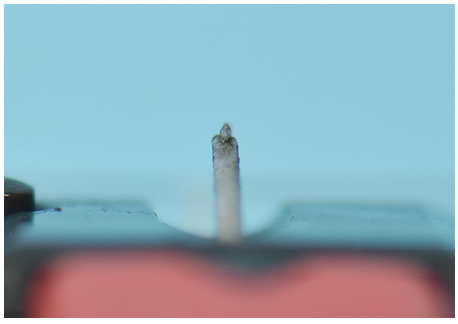
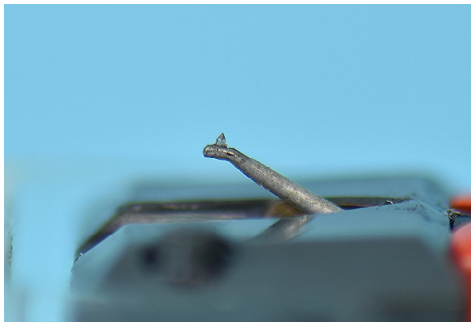
NO:56.9　形式: XL-25　ソニー（SONY）　ソニーサウンドテック（株）







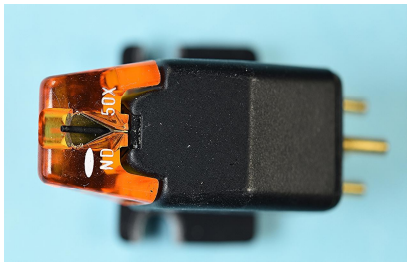



① MM、② 10 - 30,000Hz ③ 4mV、④ 0.3 x 0.8mil、⑤ 5.2 ⑥ 1.0 - 2.0 g（1.5 標準）、⑦、⑧ 50 - 100k Ω、⑨ 、⑩、⑪ 26 ⑫、⑬ 15 ⑭、⑮、⑯、⑰、⑱ 13,000、⑲、⑳ SG '78

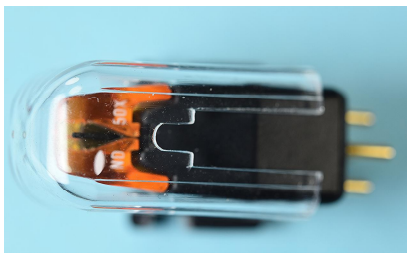
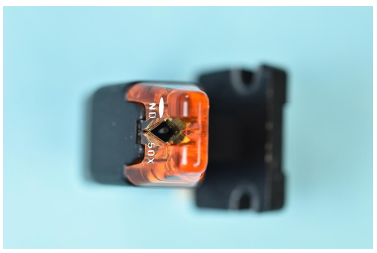
特記事項：XL-15 に楕円針を採用したモデルのようです。ボデイの色を赤黒色を反転、端子盤をカラフルにしています。

コメント：1.5g で試聴したところ、軽やかで軽快、やさしい音です。低音も綺麗です。
XL-15 と比較すると明瞭感がアップしています。

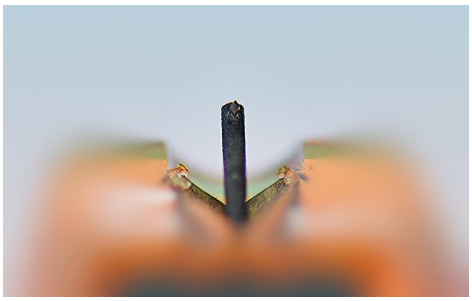
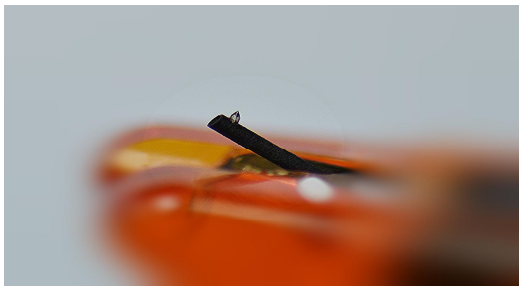
NO:56.10　形式: XL-50　ソニー（SONY）　ソニーサウンドテック（株）







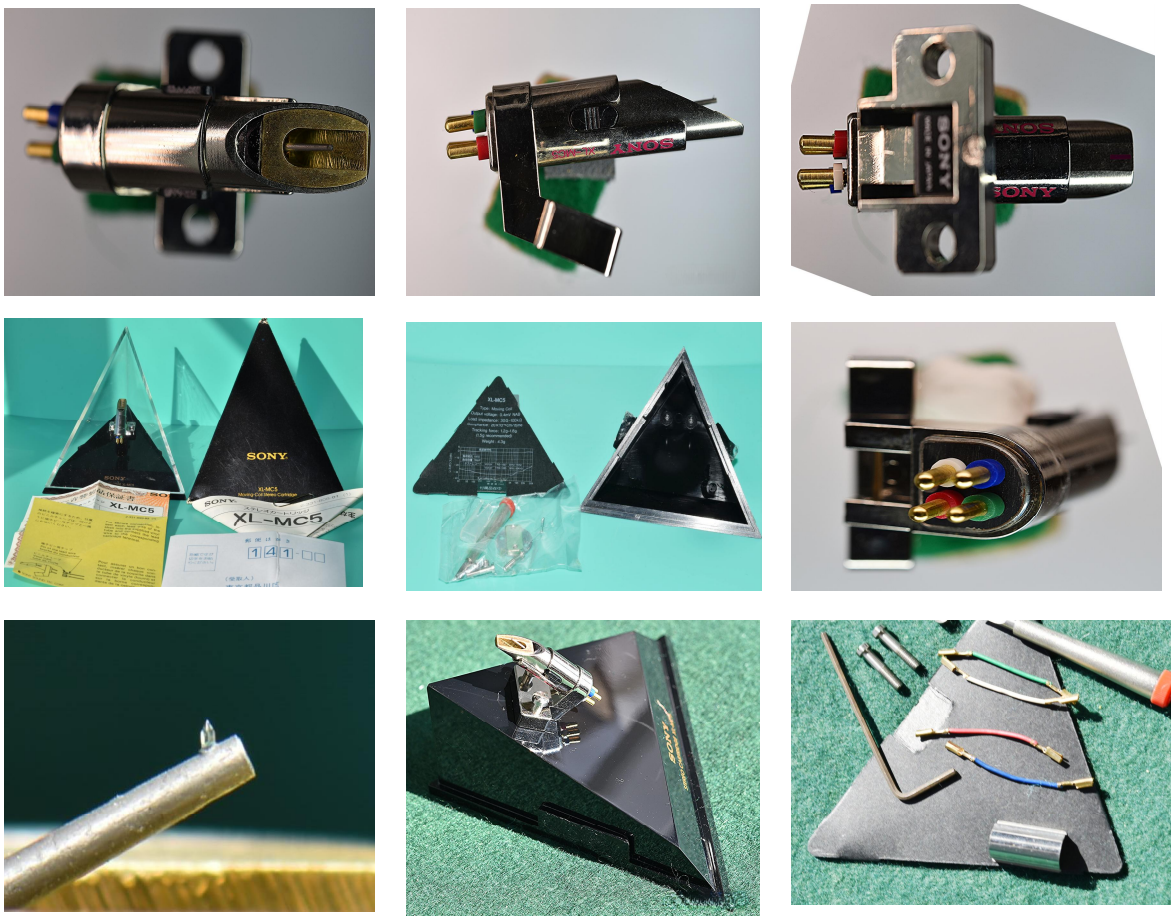
① MM、② 10 -50,000Hz ③ 2mV ④楕円⑤ 4.2 ⑥ 1.2 - 1.8 g（1.5 標準）⑦ 170 ⑧ 47 - 100k Ω、⑨ 、⑩、⑪ 20、⑫ 1 ⑬ 20 ⑭ 470 ⑮、⑯ 1981.10 ⑰、⑱ 25,000 ⑲、⑳外箱裏面、'SG84 － 85

特記事項：Δ型磁気回路、ボロンパイプカンチレバー採用。

MM 型ｶｰﾄﾘｯｼﾞから MC 型ｶｰﾄﾘｯｼﾞへ変わって来ている流れの中で、ボロンパイプカンチレバーを使用し、MM 型ｶｰﾄﾘｯｼﾞを製作した。コンパクトで軽量です。

コメント：1.5g で試聴したところ滑らかな柔らかい、歪み感のない美しい音です。低音は少なめでツヤがない。

NO:56.11　　形式: XL-MC5 ソニー（SONY ） ソニーサウンドテック（株）

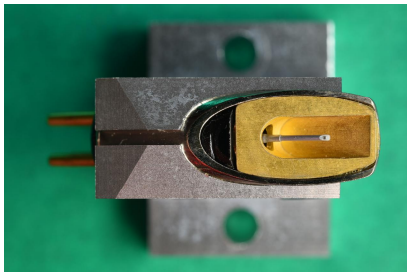
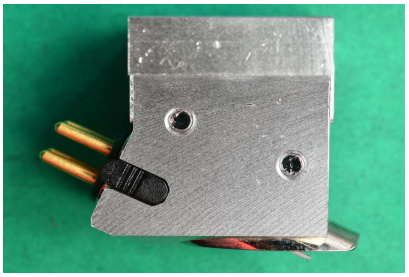


① MC、② 20 - 50,000Hz ③ 0.4mV、④超楕円ｿﾘｯﾄﾞﾀﾞｲﾔ、⑤ 4 g、⑥ 1.2 - 1.8 g、⑦ 30 Ω、⑧ 30 - 100 Ω、⑨ 、⑩、⑪ 30dB、⑫ 1.0dB、⑬ 20、⑭ 30 Ω、⑮、⑯ 1983、⑰ 25,000 円、⑱、⑲取扱説明書、ｽﾃﾚｵｶﾞｲﾄﾞ 84

特記事項：小型軽量、軽針圧である。8字型空芯方式発電コイル、ｼﾝﾒﾄﾘｶﾙﾌﾗｯｸｽ発電方式、ｻﾏﾘｳﾑｺﾊﾞﾙﾄをﾘﾝｸﾞ状で使用。交換針はND-MC5Xで自分で交換出来るユニットになっていますが、価格は新品の7割かかりますので安くはない。

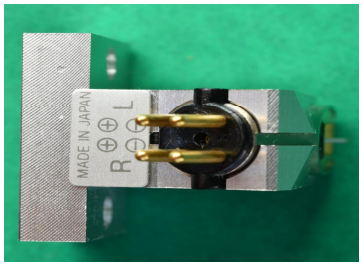
コメント：試聴したところ明瞭感の良いクリアーな音です。

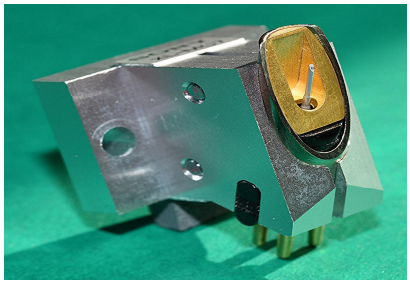
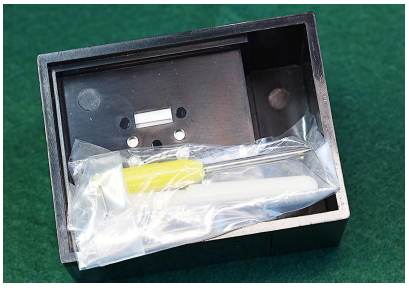
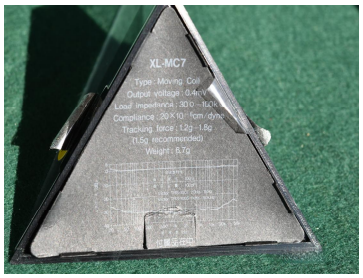
NO:56.12　　形式: XL-MC7　ソニー（SONY）　ソニーサウンドテック（株）

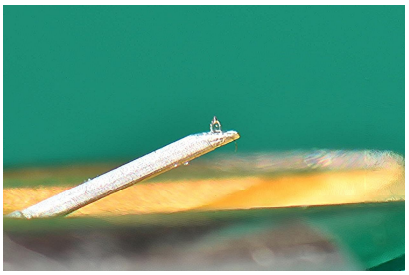
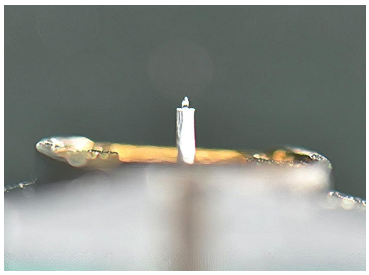






① MC、② 20 - 50,000Hz ③ 0.4mV、④ﾏｲｸﾛﾘｯｼﾞ、⑤ 6.7 g、⑥ 1.2 - 1.8 g、⑦ 30 Ω、⑧ 30 - 100 Ω、⑨ 30 度 、⑩、⑪ 30dB、⑫ 1.0dB、⑬ 20、⑭ 30 Ω、⑮、⑯ 1984/10、⑰ 28,000 円、⑱、⑲取扱説明書、ｽﾃﾚｵｶﾞｲﾄﾞ 87

特記事項：ｱﾙﾐ削り出しﾎﾞﾃﾞｲ。9字型空芯方式発電コイル、ｼﾝﾒﾄﾘｶﾙﾌﾗｯｸｽ発電方式、ｻﾏﾘｳﾑｺﾊﾞﾙﾄをﾘﾝｸﾞ状で使用。交換針はND-MC7Xで自分で交換出来るユニットになっていますが、価格は新品の7割かかりますので安くはない。針先の透明度に注目しました。

コメント：試聴したところ明瞭感のとても良い、クリアーな音です。